

湯舟坂 2 号墳細見

令和 3 年 4 月 24 日 (土) ~ 6 月 13 日 (日)



耳環・玉類



金銅装双龍環頭大刀 (環頭部分)



金銅装双龍環頭大刀

遺物写真はすべて奈良文化財研究所 栗山雅夫氏撮影

この展示は、京都府立大学の地域貢献型特別研究 (ACTR) 「丹後半島における文化遺産の地域資源化に関する総合的研究」の成果の一部です。

文化財講座 会場：当館第 1 研修室 (各定員 30 名 当日先着順に整理券を発行)

- 5 月 1 日 (土) 午後 1 時 30 分から
「古墳に埋められた「龍の飾り大刀」
—湯舟坂 2 号墳出土双龍環頭大刀の「価値」とは—
講師 金 宇大 氏 (滋賀県立大学准教授)
- 5 月 15 日 (土) 午後 1 時 30 分から
「湯舟坂 2 号墳からわかったこと」
講師 新納 泉 氏 (岡山大学名誉教授)

ぶらり丹後

- 竹野川河口の古墳と丹後古代の里資料館
5 月 22 日 (土) 午後 1 時 30 分から
集合 京丹後市立丹後古代の里資料館
案内 森島 康雄 (当館資料課長)

連携展示同時開催 (京丹後市教育委員会主催)
「地域の中の湯舟坂 2 号墳～発掘 40 周年記念展～」
4/24 (土) ~ 6/13 (日) 会場：京丹後市立丹後古代の里資料館

【開館時間】午前 9 時～午後 4 時 30 分
 【休館日】月曜日 (5 月 3 日 (月・祝) は開館し、6 日 (木) は休館)
 【入館料】大人 200 円 小人 50 円
 *65 歳以上の方、障害者手帳等をお持ちの方、及び介護者は無料
 *「きょうと子育て応援パスポート」が利用可能

京都府立丹後郷土資料館

〒629-2234 宮津市宇国分小字天王山 611-1
 Tel. 0772-27-0230 Fax. 0772-27-0020
 HP <http://www.kyoto-be.ne.jp/tango-m/>



資料館 HP

昭和56年（1981）秋、熊野郡久美浜町須田（現・京丹後市久美浜町須田）の伯耆谷の最奥部にある古墳から出土した黄金の大刀が全国の考古学ファンを驚かせました。きわめて残りの良い金銅装双龍環頭大刀の写真が新聞各紙の1面を飾り、現地上空には取材ヘリが飛び交い、現地説明会には3,000人もの方が押しかけて、普段静かな谷あいには熱気に包まれたといえます。

圃場整備で消滅する予定だった古墳は、京都府指定史跡として現地で保存され、金銅装双龍環頭大刀や200点を超える須恵器などの出土遺物は、一括して重要文化財に指定されました。

今回の展示では、発掘調査から40年を迎える湯舟坂2号墳の出土遺物を一堂に展示し、昨年度、京都府立大学の地域貢献型特別研究（ACTR）「丹後半島における文化遺産の地域資源化に関する総合的研究」の一環として行われた、出土遺物の再検討及び、高精細写真撮影・3次元計測の成果を紹介します。



奥壁付近の須恵器



圭頭大刀の把に巻かれた銀線



環頭大刀の鞘の装飾



銅椀



環頭大刀3D画像
元興寺文化財研究所計測



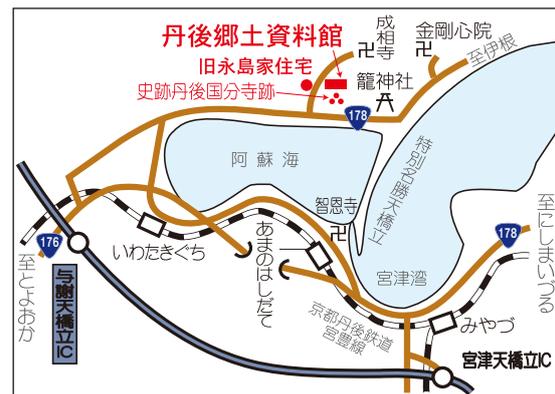
鞘内面の布



多口瓶



京都府立大学ACTR調査風景



【交通】 京都丹後鉄道宮豊線「天橋立駅」または「岩滝口駅」から丹海バス伊根方面行き「丹後郷土資料館」下車すぐまたは、「国分」下車徒歩5分「与謝天橋立IC」から車で10分

※展覧会及びイベントの開催にあたって

新型コロナウイルス感染症拡大防止の対策として、マスクの着用、手指の消毒をお願いします。また、発熱症状等がある場合はご来館の自粛をお願いします。ソーシャルディスタンス確保のため定員を設定しています。

なお、感染状況によっては展覧会及びイベントの開催を中止させていただく場合があります。ご来館前に必ず当館HPあるいはお電話等で開催の有無をご確認ください。